

國學院大學學術情報リポジトリ

ナシ族のトンバ經典に見られる語気助詞について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 黒澤, 直道, Kurosawa, Naomichi メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00000106

ナシ族のトンバ經典に見られる 語気助詞について

黒澤 直道

1. はじめに

ナシ語（納西語）は、中国雲南省の西北部に居住する少数民族、ナシ族（納西族）によって話されている言語である。ナシ族の人口はおよそ 32 万人とされ、主として雲南省麗江市の海拔 2400m 前後の高原に居住している。ナシ語は、系統的にはシナ・チベット語族チベット・ビルマ語派に含まれ、イ語（彝語）などに近い言語とされている。

ナシ語の特徴として一般にも広く知られているのは、それを記す特徴的な「トンバ文字（東巴文）」の存在である。この文字は、ナシ族の宗教的祭司が儀礼で使用する經典に用いられるもので、一見して特徴的な「絵文字」もしくは「象形文字」である。トンバ文字で書かれた經典は「トンバ經典（東巴經）」と呼ばれ、これを読み書きする祭司が「トンバ（東巴）」である。しかし、ナシ族の儀礼で用いられる經典には、このような象形文字の他に、一文字が一音節に対応する「ゴバ文字（哥巴文）」で書かれた「ゴバ經典（哥巴經）」などもある。

文法上、ナシ語の助詞には構造助詞、時態助詞、語気助詞があるとされるが、本稿では、特にこのうちの語気助詞についてとりあげ、ナシ族独特の文字で書かれたトンバ經典において、語気助詞がどのように用いられ、文字としてどのように表現されているかを考察する。

2. ナシ語の語気助詞

これまでに行われた研究では、ナシ語には以下のような語気助詞があるとされる。ここではその意味と機能によって、以下のように分類しておく⁽¹⁾。なお、以下では、ナシ語のローマ字表記法である「ナシ族文字方案（納西族文字方案）」を用いてナシ語を記述する⁽²⁾。

2.1. 疑問を表す語気助詞

疑問を表す語気助詞には、lei, lal (lail)、shel (sel)、ddaq (ddeg) がある。このうちのいくつかには、括弧内に示したような音声上のバリエーションがある。

lei しばしば、el (副詞、“～であるか否か”) と共に用いられる。

Ngvl sseif-gvq nee ceeq yel lei? あなたはどこから来たのですか。
あなた (疑問)-(場所) ～から 来た (丁寧) (疑問)

Ngvl el bbee lei? あなたは行きますか。
あなた (副詞) 行く (疑問)

lal (lail) 一般的には、問う内容はすでに既知の事柄である。

Ngvl yegoq nee ceeq yel lal? あなたは家から来たのですか。
あなた 家 (構造助詞, ～から) 来た (丁寧) (疑問)

Ngvl me bbee lal? あなたは行かないのですか。
あなた (否定) 行く (疑問)

shel (sel) 語源的には、漢語からの借用語である動詞「言う (shel, sel)」に由来すると考えられる⁽³⁾。

Ngvl eqzee bbei neiq shel? あなたは何をしていますか。
あなた 何 する (時態助詞, 進行) (疑問)

ddaq (ddeg)

Seiq waq keel ddaq? どうであるのか。
(疑問) ～である (推量) (疑問)

2.2. 命令・相談・祈願の語気助詞

命令や祈願を表す語気助詞には、mei (meiq, meif)、laq, hol (yelhol)、gamv (gamo)、neiq (neq, nef, neeq) がある。括弧内に示したような音声上のバリエーションがある。

mei (meiq.meif) 命令・相談の語気を表す。

Ddee-merq chuq bbei bbee meif 早く行きましょう。

1- (少量) 早い (構造助詞) 行く (相談)

Elggee q leiwul bbee meif 私たち帰りましょう。

我たち 戻る 行く (相談)

laq 相談の語気を表す。

Elggee q ddeedi bbei bbee laq 私たち一緒に行きましょう。

私たち 一緒 (構造助詞) 行く (相談)

hol (yelhol) 祈願の語気を表す。

Tee nee teiq hee zherq hol 彼に行かせることを望みます。

彼 (構造助詞, ~が) (副詞) 行く (使役) (祈願)

Ngvl ssee sherq hal yi yelhol あなたの寿命が長くありますように。

あなた 寿命 長い 日にち ある (祈願)

gamv (gamo) 丁寧な要求の語気を表す。

Essee q jji gamv! ゆっくりお歩きください。

ゆっくり 歩く (丁寧な要求)

neiq (neq, nef, neeq) 要求の語気を表す。しばしば、動詞の前の ddee (原義は“1”) と併せて用いる。ちなみに neiq には、この他にも進行態を表す時態助詞がある。

Ngvl nee ngeq ddee meil nef 私にちょっと教えてください。

あなた (構造助詞, ~が) 私 1 教える (要求)

2.3. 肯定を表す語気助詞

肯定を表す語気助詞には、seiq (heiq)、xe (xai)、moq, maq (maf) , muq (mvq), nvqmaq がある。括弧内に示したような音声上のバリエーションがある。

seiq (heiq) ちなみに seiq には、この他にも完了態を表す時態助詞がある。

Ngeq bbee seiq 私は行きます。

私 行く (肯定)

xe (xai)

Bber ceeq xe. お客さんが来た。
客 来た (肯定)

moq, maq (maf), muq (mvq), nvqmaq

Bbalaq chee lvl tee gge mvq. この服は彼のだ。
服 これ (着) 彼 (構造助詞, ~の) (肯定)

Tee nee shel tee waq mvq. 彼が言うのは正しい。
彼 (構造助詞, ~が) 言う それ そうである (肯定)

2.4. 感嘆を表す語気助詞

感嘆を表す語気助詞には、ye, yemvq, yeweq, we (wei)、ggelがある。括弧内に示したような音声上のバリエーションがある。

ye, yemvq, yeweq 実際に体験している、もしくは目で見ている感覚を伴う。

Tee jji mei jjaif chuq ye! 彼が歩くのはとても早いなあ！
彼 歩く (構造助詞) とても 早い (感嘆)

Lafzee jjaif biq ye! 唐辛子が辛いなあ！
唐辛子 とても 辛い (感嘆)

Tee eqni see ceeq yemvq. 彼は昨日もう来ていたのだよ。
彼 昨日 先に 来た (感嘆)

we (wei)

Wu cheeni ceeq, ngeq me no we! 君が今日来たのを、私は知らなかったよ！
君 今日 来た 私 (否定) 知る (感嘆)

ggel

Ngvl jjaif chuq bbei ceeq ggel! あなたは来たのが早いですね！
あなた とても 早い (構造助詞) 来た (感嘆)

2.5. 伝聞・引用を表す語気助詞

「～だそうだ」という伝聞・引用を表す語気助詞には、*zeel* がある。

zeel

Tee me bbee zeel lal? 彼は行かないって？

彼 (否定) 行く (伝聞) (疑問)

Tee me bbee zeel. 彼は行かないそうだ。

彼 (否定) 行く (伝聞)

Ssei hal ggv seiq zeel lei? 何日経ったって？

(疑問) (日) ~になる (時態助詞, 完了) (伝聞) (疑問)

3. トンバ經典における語気助詞

これまでに行われた研究では、トンバ文字の特徴として「言葉で表現する単位をすべて書き表していないこと、テニヲハなどは全く書かないこと」が挙げられている⁽⁴⁾。トンバ經典で文字として書かれるのは、主として名詞や動詞など具体的な意味を表す語であり、文法的な機能を表す助詞などはあまり書かれないものと考えられてきた。しかし、トンバ文字で書かれたテキストを詳しく検討すると、一部の助詞（構造助詞、語気助詞、時態助詞）には、トンバ文字で書かれるものもあることが分かる（ただし、全ての場合にそれが書かれるというわけではない）。以下では、このうちの語気助詞について、トンバ文字でどのように書かれているかを見てゆく。

本稿では、ナシ族の創世神話「ツォバトゥ」の三つのテキストを検討した（以下、經典 A、經典 B、經典 C と記す）。經典 A は、1930 年代に現地に滞在してトンバ經典の収集と研究を行った李霖燦による「麼些族的洪水神話」（李霖燦・和才 1978）である。經典 B は、1950 年代から 60 年代初期に麗江県文化館で行われた經典の記述作業の成果として公表された『崇搬図』（和芳講述・周汝誠翻訳 1963）である。經典 C は、言語学者の傅懋勳が 1940 年代に行った研究である『麗江麼些象形文・古事記研究』（傅懋勳 1948）である。

創世神話「ツォバトゥ」には、この他にも 1980 年代に麗江の東巴文化研究室（後に研究所、さらに研究院に昇格）で記録・翻訳されたものがあり、1986 年に出版された『納西東巴古籍訳注（一）』に収められている。さらに、やはり同研究所

の成果として1999年から2000年にかけて出版された『納西東巴古籍訳注全集』（全100巻）には、6冊の「ツォバトウ」が含まれている。しかし、『納西東巴古籍訳注（一）』のテキストでは、同一のテキストの中で、同じ文字や語の訳語が食い違っていたりすることがある。当時の状況を知る同研究所のナシ族の学者によれば、当時の翻訳作業においては、1本の經典を訳すにあたり、複数のトンバと研究者が関わっていたため、そのような問題が起こっているとのことである。これは、主として1980年代以降の經典の記録・翻訳作業が、文化大革命時期の混乱を経た後のものであることによるであろう。宗教的な活動が禁止された文化大革命の時期には、トンバの儀礼も途絶え、トンバ經典も没収されて焼かれたりした。そのため、1980年代以降の研究は、社会的な大混乱の中でトンバと經典が引き離されてしまった後の記録資料であると言える。これは、『納西東巴古籍訳注全集』についても同様である。本稿では、一本の經典における文字や語の使用状況を検討するため、こうした影響の少ないものとして、上述の三種のテキストを用いることにする。

上述の三つの經典における語気助詞の使用状況をまとめたものが、本稿の末尾に示した附表1～3である。これらの表では、それぞれの經典における語気助詞の出現箇所、語気助詞の回数、文字の有無等について記した。文字がある場合は、『麼些象形文字・標音文字字典』（李霖燦1972）で文字に付された番号を記してある。

以下の表は、附表1～3を基にした語気助詞の出現回数のまとめである。数字はそれぞれの語気助詞の出現回数であり、括弧内の数字はそれが文字に書かれた回数である。

語気助詞	經典 A	經典 B	經典 C
zeel	66 (4)	71 (48)	35 (2)
ye	36 (0)	22 (12)	14 (1)
seiq	17 (6)	21 (14)	8 (0)
ddaq	21 (0)	12 (1)	8 (0)
wei (we)	3 (0)	23 (11)	10 (0)
muq	7 (1)	9 (5)	7 (0)
hol	1 (1)	2 (1)	2 (2)
gamo	5 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	156 (12)	160 (92)	84 (5)

この表から分かるのは、第2節に見たナシ語の語気助詞の中でも、經典の言語に用いられる語気助詞はごく限定されていること、そして經典によって、それらの語

気助詞の使用状況にはかなりの違いがあることである。經典 A と經典 B を比較すると、語気助詞の出現回数は ddaq と wei で異なる以外は、概ね一致すると言えるが、それが文字に書かれる回数は、二つの經典で大きく異なることが分かる。どの語気助詞について見ても、文字に書かれた回数は經典 B の方がかなり多くなっており、經典 B の方が言語の要素をより細かく文字として記述する傾向が強いことが分かる。また、經典 C は、經典の長さが短いこともあり、全体的に語気助詞の出現回数が少ないが、それが文字として書かれる回数はさらに少ないと言えよう。

どの經典においても、最も出現回数が多く、かつ文字に書かれることが多いのは、伝聞・引用の語気を表す zeel である。次に多い ye と比較しても、その回数は經典 A と經典 C で 2 倍程度、經典 B では 3 倍以上である。おそらくこれには、經典の文体において、「……であるという」という言い回しが多用されることが関係していると考えられる。

次に、これらの語気助詞が実際の經典の中でどのように記されているかを、具体的に見てゆく。ただし、それぞれの訳語については、ナシ語の原文に即して筆者が変更した部分がある。

3.1. zeel

引用の語気を表す zeel は、經典 B では同音の「結び目」を表す文字を用いて表記する (矢印の文字)。



jji toq gvl nee zzeeq, gvl nieq lei milddo,

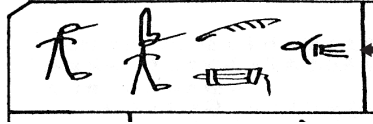
家 後ろ できる者 (構造助詞, ~が) 住む できる者 (構造助詞, ~に) (構造助詞) 問う

gvl-ssso nee shel mei, gvl nee me gvl zeel.

できる者 - (男) (構造助詞, ~が) 言う (構造助詞) できる者 (~が) (否定) できる (伝聞)

(家の後ろに巧みな者が住んでいる。巧みな者に問う。巧みな者が言うには、巧みな者はできないという。) (經典 B, p.15)

一方、經典 A では、zeel を書き記すために、口の形と結び目が組み合わさった文字を用いている。これは口の形を組み合わせることで、「口」つまり「言葉」との意味的な関連を持たせた文字であり、語気助詞 zeel を記す専用の文字となっている。



kvq lei shv lu zeel!

中 (構造助詞) 連れる (命令) (伝聞・引用)

(中に連れて来なさい、と。)(經典 A, p.52)

3.2. ye

感嘆の語気を表す ye は、トンバ經典では、同音の「葉」⁽⁵⁾の文字を用いて表記する。



bal xuq ddee bal tei-nieq pai seiq ye.

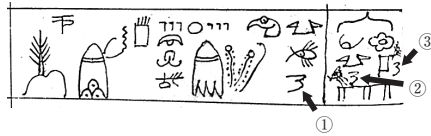
記号 赤い 1 記号 これ・辺り 結ぶ (時態助詞, 完了) (感嘆)

(赤い道標を、この辺りに結んだなあ。)(經典 B, p.108)

3.3. seiq

seiq には完了態を表す時態助詞の用法と、肯定を表す語気助詞の用法があり、両者の用法が重なっていることも多い (本稿では、単純な時態助詞の seiq は記述の対象外とした)。トンバ經典では、漢字から意味を借用した「了」の字形を用いて表すか (この場合でも読みは seiq である)、または、同音である「青羊 (アオヒツジ、バーラル)」の文字を用いて記述する。

以下のテキストでは、初めの文 (計 5 句) の中で seiq が三度出現するが、二回目までの seiq を記述する文字は無く、最後の seiq に至ってようやく文字に書かれている (①)。また、その後の文 (計 2 句) では seiq が二回出現し、これはいずれも文字に書かれている (②と③)。このように、トンバ經典では、同じ文の中の同一の成分が書かれることと書かれないことがあるが、この場合は、より重要度の高い部分の文字が書かれていると見ることができる。



bbuq gv zzerq yi gv perq tv lee seiq, seel ha ni soq ggv,

坂 (上) 木 (構造助詞) 頭 白い 出る (来る) (肯定) 3 夜 2 朝 過ぎる

jjuq gge lv naq ku rer tv lee seiq,

山 (構造助詞, ~の) 石 黒い 声 大きい 出る (来る) (肯定)

ggeq yi jju miq selshe tv, mee q yi lo miq gollv tv lee seiq^①.

上 (構造助詞) 山 崩れる (擬音語) 出る 下 (構造助詞) 谷 崩れる 沸く 出る (来る) (肯定)

mee me see ddee mee tv lee seiq^②,

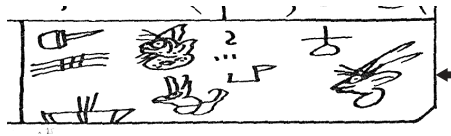
天 (否定) 知る 1 天 出る (来る) (肯定)

ddiuq me see ddee ddiuq ku lee seiq^③.

地 (否定) 知る 1 地 拓く (来る) (肯定)

(坂の木の梢が白くなるようなことになる。三晩と二朝が過ぎれば、山の黒石には轟音が響くことになる。上の方では山がガラガラと崩れることになる。下の方では谷が崩れ土砂が沸くようになることになる。見たこともない天が出現し、見たこともない地が出現することになる。) (経典 B, p.28)

先にも述べたように、seiq は同音の「青羊」の文字で書かれることもある。経典 A では、いずれの場合も「青羊」の文字で書かれるが、経典 B の中では「了」と「青羊」の文字が混在している。



lerlee keeqlee zhul gge ddvq neiq ddai nil seel te chee

耕地 荒地 境 (構造助詞, ~の) 野良猫 (構造助詞, ~と) 狐 乳 3 (滴) これ

waq seiq.

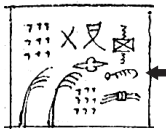
~である (肯定)

(耕地と荒地の境の野良猫と狐の三滴の乳だ。) (経典 A, p.68)

3.4. ddaq

疑問の語気を表す ddaq は、ほとんど文字に書かれることがないが、経典 B では

同音の「鎌」で書かれている例が一つだけある。



ggv cerq ggv xiq svq bbei zerl ddaq zeel?

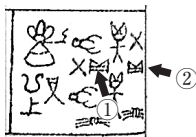
9 10 9 焼畑の山 (疑問) (構造助詞) 伐る (疑問) (引用・伝聞)

(九十九の焼畑の山をどうやって伐るのか、と。)(經典 B, p.51)

しかし、先に挙げた数字にも表れているように、ほとんどの場合、トンバ經典ではこれに相当する文字がない。

3.5. weq

感嘆の語気を表す weq は、トンバ經典では、これと発音の近い「村」(we) の文字を用いて表記する (以下の①と②)。ここではいずれの場合も、引用・伝聞の語気を表す zeel が次に続いている。



dduq epv nee shel mei, ggeeq la ggeeq weq^① zeel,

ドゥ神 長老 (構造助詞, ~が) 言う (構造助詞) 本当だ (副詞) 本当だ (感嘆) (引用・伝聞)

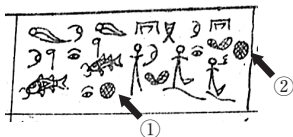
zeiq la zeq weq^② zeel.

正しい (副詞) 正しい (感嘆) (引用・伝聞)

(ドゥ長老が言うには、本当だなあ、正しいなあ、と。)(經典 B, p.48)

3.6. muq

肯定の語気を表す muq は、トンバ經典では、発音の近い「塵取り」(moq) の文字を用いて表記する (以下の①と②)。



jjiq me gol mei ni me puq, jjiq gol ni puq muq^①.

水 (否定) 涸れる (構造助詞) 魚 (否定) 逃げる 水 涸れる 魚 逃げる (肯定)

zhuag me kel mei wuq me puq, zhuag kel wuq puq muq^②.

主人 (否定) 酷薄だ (構造助詞) 奴隷 (否定) 逃げる 主人 酷薄だ 奴隷 逃げる (肯定)

(川の水が涸れなければ、魚も逃げない。水が涸れれば魚も逃げる。主人が酷薄でなければ奴隷も逃げない。主人が酷薄ならば奴隷も逃げる。) (經典 B, p.48)

また、一つだけではあるが、經典 A では、発音の近い「キノコ」(発音は mul) の文字を用いた例がある。



Coqsseileel'ee-sso ceeq biuq ddee zherl see,

ツォゼルグ・(男) 霊 祭る 1 (節) 知る

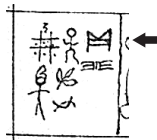
bber loq ddee ddo lei see muq.

客 もてなす 1 (しきたり) (構造助詞) 知る (肯定)

(ツォゼルグは、霊を祭る方法も知った。客をもてなすしきたりも知った。) (經典 A, p.82)

3.7. wei

感嘆の語気を表す wei は、トンバ經典では、これと発音の近い「村」(we) の文字を用いて表記する。従って、「村」の文字は、先の weq と、この wei の二つの語気助詞を記すのに用いられていることになる。以下の例では、二句目の wei では文字が書かれず、三句目で文字が書かれている。



Coqsseileel'ee lei shel mei, niu ni niu yel lu wei zeel,

ツォゼルグ (構造助詞, ~が) 言う (構造助詞) 私 求める 私 与える (命令) (感嘆) (引用・伝聞)

zzai mil niu sseeq lu wei zeel.

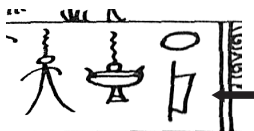
愛する 娘 私 娶る (命令) (感嘆) (引用・伝聞)

(ツォゼルグが言うには、私の求めるものを私にくださいよ、と。あなたの愛す

る娘さんを私にくださいよ、と。) (經典 B, p.51)

3.8. hol

祈願の語気を表す hol は、トンバ經典では、これと発音の近い「ドア」(ku) や、「胃」(hu) の文字を用いて表記する。



ssee sherq hal yi ggv bbei hol.

寿命 長い 日にち ある …になる (構造助詞) (祈願)

(寿命長く、日々は長くありますように。) (經典 A, p.87)



ggeq yi yuq heeq bbaiq hol.

上 (構造助詞) 祖先 安らか 楽しい (祈願)

(上には、祖先が安らかで楽しくありますように。) (經典 B, p.132)

4. おわりに

トンバ經典の言語には、各種の助詞が多く含まれているが、それが文字に書かれることは必ずしも多くはない⁽⁶⁾。創世神話「ツォバトゥ」においても、第2節に見たナシ語の語気助詞全体から見ると、文字で書かれる語気助詞の種類はごく限定されていると言える。基本的に、經典の言語はトンバが儀礼を司る時に唱える一種の文語であり、この文体においては語気助詞が出現する機会自体が少ない。しかし、經典の中にも時折登場人物の発する会話文があり、こうした会話文の中では、しばしば語気助詞が出現する。本稿で扱った語気助詞も、多くの場合はこのような会話文の中に使われている。

一般に、トンバ經典に書かれる文字は、実体的な意味を伴う語句が多く、語気助詞にはこれを書くための文字が確実に存在するわけではない。さらに、同じ語気助詞でも、ある場合は書かれ、ある場合には書かれないと言った不統一も見られ、特に重複して語気助詞が出現する場合には省略される傾向が強い。しかしながら、本

稿で見たように、一部の語気助詞には比較的多く文字として書かれるものがあることが明らかになった。

全体的に見れば、最も使用頻度の大きい語気助詞は、伝聞・引用を意味する *zeel* であり、本稿で見た三種の經典では、三種のトンバ文字がこれを記すのに使われている。*zeel* は、会話文の直後にはしばしば用いられるが、実際には、登場人物の発する会話文だけに用いられるわけではない。こうした *zeel* の用法は、日本語で言えば「……である、と。」の「と」に相当するものであり、このような *zeel* の多用は、トンバ經典の文体とも関連するものと言えよう。この他には、*ye*、*seiq*、*wei* が比較的多く書かれており、それぞれ使われる文字はある程度決まったものであるようである。

また、本稿での三つの經典の比較から、經典によって語気助詞が書かれるか否かには傾向の違いがあることも明らかになった。本来、トンバ經典は、音節、形態素、単語などの言語の要素を十分に記さないことが大きな特徴とされてきたが、特に經典 B は言語の要素をなるべく細かく書こうとする傾向があると言える。經典 B では、所々に 1 音節を 1 字で記すゴバ文字が使われていることもあり、この点でも經典 A や經典 C とはやや異なっている。語気助詞のように、これまであまり文字として書かれることがないと思われてきた要素が經典の中でどのように扱われているかを検討することは、經典ごとに異なるその性質を明らかにする手がかりになるとも言えよう。

【附表 1】李霖燦「麼些族的洪水神話」における語気助詞の使用状況

頁数 / 行数	語気助詞	文字の有無 / 備考
28/1	<i>zeel</i>	無
31/8-9	<i>zeel</i> (2 回)	無
32/1-2	<i>zeel</i> (2 回)	無
36/5-9	<i>zeel</i> (3 回)	無
37/1	<i>zeel</i>	無
38/3-6	<i>seiq</i> (4 回)	無
38/7	<i>seiq</i> (2 回)	有 (No. 796 「青羊」)
39/9-10	<i>zeel</i> (2 回)	無
41/5	<i>seiq</i>	無
41/5	<i>seiq</i>	有 (No. 796 「青羊」)
41/6	<i>seiq</i>	無
41/8-9	<i>ye</i> (2 回)	無
41/9	<i>zeel</i>	無

42/2	zeel	無
42/4-7	ddaq (2回)	無
44/1	ye	無
44/2-3	ye (4回)	無
44/4-8	zeel (6回)	無
44/8	ye	無
46/4-6	zeel (2回)	無
47/3	zeel	有 (No. 608 「口と結び目」)
47/6	ddaq	無
48/4-7	zeel (2回)	無
49/9	wei	無
49/9	muq, zeel	無
49/10	zeel	無
50/3	wei	無
50/3	ye,zeel	無
50/4	muq,zeel	無
50/7-10	zeel (3回)	無
52/1	zeel	有 (No. 608 「口と結び目」)
52/1-10	zeel (5回)	無
52/11	ddaq, zeel	無
52/12	zeel	無
54/1-7	ye (5回)	無
54/8-11	zeel (2回)	無
56/2	zeel (2回)	無
56/3	ye (2回)	無
56/4	zeel	無
56/8-9	ddaq (3回)	無
56/12	zeel	無
56/13	ye	無
56/14	zeel	無
57/1	ye (2回)	無
57/2	zeel	無
57/6	ddaq (2回)	無
58/1-3	ye (3回)	無
58/4	zeel	無
58/5	zeel	有 (No. 608 「口と結び目」)
58/9	ddaq	無
58/10	ddaq, zeel	無
59/1	ye	無

59/2	zeel	無
59/3	ye (2回)	無
59/4	zeel	無
60/3	ddaq	無
60/4	ddaq, zeel	無
60/11	ye	無
61/6	seiq	無
62/1	seiq	無
62/3	ddaq (2回)	無
62/9	seiq	有 (No. 796 「青羊」)
62/10	ddaq, zeel	無
62/11	ye (2回)	無
64/2-3	seiq (2回)	無
64/4-7	ddaq (2回)	無
64/10	ye	無
65/1	ye	無
65/1-2	gamo (4回)	無
65/3	zeel	無
65/4-5	ye (2回)	無
66/1	seiq	無
66/2	ddaq	無
66/4	zeel, ddaq	無
66/6	zeel	無
66/8-13	ye (2回)	無
67/2	gamo	無
67/3	muq, zeel	無
67/5	ye (2回)	無
67/6	zeel	有 (No. 608 「口と結び目」)
68/1	muq	無
68/10	seiq	有 (No. 796 「青羊」)
69/8	ddaq, zeel	無
70/7	seiq	有 (No. 796 「青羊」)
71/1	ddaq, zeel	無
71/9	muq, zeel	無
71/10	zeel	無
72/1	mu (=muq)	無
72/2	wei	無
72/7	zeel	無
73/3	zeel	無

80/2	zeel	無
82/1	muq	有 (No. 1047 「キノコ」)
87/10	hol	有 (No. 1148 「ドア」)

【附表2】和芳講述・周汝誠翻訳『崇搬図』における語気助詞の使用状況

頁数 / 段と行数	語気助詞	文字の有無／備考
15/ 上 4- 下 2	zeel (2回)	有 (No. 1581 「結び目」 (2回))
24/ 上 1- 下 2	zeel (2回)	無
25/ 上 3	zeel	無
25/ 下 4	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
28/ 下 1-2	seiq (2回)	無
28/ 下 3-4	seiq (3回)	有 (No. 1423 “了”) (3回)
29/ 上 3	seiq	無
31/ 下 3-4	ddaq (2回)	無
32/ 上 1	ddaq	無
32/ 下 4-5	seiq (2回)	無
33/ 下 2-3	seiq (2回)	無
37/ 下 4-5	ddaq, wei	無 ※周汝誠は ddaq を「惨」と解釈。
37/ 下 4	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
38/ 上 4	muq	有 (No. 1116 「塵取り」) ※周汝誠は muq を「原因」と解釈。
38/ 上 4	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
38/ 下 2	ddaq	無 ※周汝誠は ddaq を「惨」と解釈。
38/ 下 2	wa (=wei)	有 (No. 1528 「村」)
38/ 下 2	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
39/ 上 2	ddaq, zeel	無 ※「村」の文字あり、読みと不一致。
39/ 下 1	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
41/ 上 4	zeel	無
41/ 下 1	ceel (=zeel)	有 (No. 1581 「結び目」)
42/ 下 1	wei	有 (No. 1528 「村」)
42/ 下 1	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
44/ 上 2	ye	無
44/ 上 3	ye	有 (No. 1066 「葉」)
46/ 下 3-4	ddaq (2回)	無 ※「村」の文字あり、読みと不一致。
46/ 下 3-4	zeel (2回)	有 (No. 1581 「結び目」) (1回)
47/ 上 3	we	有 (No. 1528 「村」)
47/ 上 3	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
47/ 下 1	wei, zeel	無

47/ 下 2	muq	無
47/ 下 2	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
47/ 下 4	muq	有 (No. 1116 「塵取り」)
48/ 上 1-2	muq (2 回)	有 (No. 1116 「塵取り」) (2 回)
48/ 下 1	muq	無 ※周汝誠は muq を「原因」と解釈。
48/ 下 1	wei	有 (No. 1528 「村」)
48/ 下 1	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
48/ 下 3	wei	無
48/ 下 3	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
48/ 下 4	wei (2 回)	有 (No. 1528 「村」) (2 回)
48/ 下 4	zeel (2 回)	有 (No. 1581 「結び目」) (2 回)
50/ 下 2	wei, zeel	無
50/ 下 3-4	ye (2 回)	無
50/ 下 4	muq	有 (No.1116 「塵取り」)
50/ 下 4	zeel (2 回)	有 (No. 1581 「結び目」) (2 回)
51/ 上 1	ddaq	有 (No. 1114 「鎌」)
51/ 上 1	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
51/ 上 5	wei	無
51/ 上 5	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
51/ 下 1	wei	有 (No. 1528 「村」)
51/ 下 1	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
51/ 下 3	ye (2 回)	無
51/ 下 4	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
51/ 下 5	ddaq, zeel	無
52/ 上 4	wei, zeil(=zeel) (2 回)	無
52/ 下 1	ye	有 (No. 1066 「葉」)
52/ 下 1	ye	有 (No. 1068 「葉」 + 「方形」)
52/ 下 1	wei	有 (No. 1528 「村」)
52/ 下 1	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
52/ 下 2	muq, zeel	無
52/ 下 4	ddaq	無
52/ 下 4	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
53/ 上 3	zeel	無
53/ 上 5	ye (2 回)	無
53/ 下 1	wei	無
53/ 下 1	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
53/ 下 4	wei, zeel	無
54/ 上 1-2	ye (2 回)	有 (No. 1066 「葉」) (1 回)

54/ 上 2	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
55/ 下 5	wei, zeel	無
56/ 上 2-3	ye (2回)	有 (No.1068 「葉」 + 「方形」) (1回)
56/ 上 3	wei	無
56/ 上 3	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
56/ 上 5	muq, zeel	無 ※周汝誠は muq を「原因」と解釈。
56/ 下 2	wei	有 (No.1528 「村」)
56/ 下 2	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
57/ 上 5	wei,zeel	無
57/ 下 2	ye (2回)	有 (No.1066 「葉」) (2回)
57/ 下 3	zeel	無
57/ 下 4	zeel	無
58/ 上 1	wei, zeel	無
58/ 下 4	ye (2回)	有 (No.1066 「葉」) (1回)
58/ 下 5	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
60/ 下 1	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
61/ 下 5	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
62/ 上 2	wei	有 (No.1528 「村」)
62/ 上 2	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
62/ 上 3-4	zeel (2回)	無
63/ 下 1	ddaq	無
63/ 下 1	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
64/ 上 3	zeel	無
64/ 上 5	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
83/ 下 2	weiq	有 (No.1528 「村」)
83/ 下 2	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
84/ 上 2	seiq	有 (No.796 「青羊」)
84/ 上 3	seiq	有 (No.1423 “了”)
84/ 上 4	seiq	有 (No.1423 “了”)
91/ 上 1	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
92/ 下 3	zeel (2回)	有 (No.1581 「結び目」) (2回)
93/ 上 1-2	zeel (2回)	有 (No.1581 「結び目」) (1回)
108/ 下 1	ye	有 (No.1066 「葉」)
108/ 下 1	zeel	有 (No.1581 「結び目」)
108/ 下 2	ye	有 (No.1066 「葉」)
108/ 下 3	yeq (=ye)	有 (No.1066 「葉」)
108/ 下 3	zvl (=zeel)	有 (No.1581 「結び目」)
108/ 下 4	ye	有 (No.1066 「葉」)
115/ 上 3	zeel	有 (No.1581 「結び目」)

115/ 下 1-3	zeel (4 回)	有 (No. 1581 「結び目」) (4 回)
116/ 上 3	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
116/ 下 3	zeel	有 (No. 1581 「結び目」)
119/ 上 1	seiq	有 (No. 796 「青羊」)
119/ 下 1	seiq	有 (No. 796 「青羊」)
122/ 下 3	seiq	有 (No. 796 「青羊」)
123/ 上 1-2	seiq (3 回)	有 (No. 796 「青羊」) (3 回)
127/ 下 1-2	seiq (2 回)	有 (No. 796 「青羊」) (2 回)
132/ 上 1	hul (=hol)	有 (No. 643 「胃」)
132/ 上 2	hol	無

【附表 3】傳懋勳『麗江麼些象形文「古事記」研究』における語気助詞の使用状況

頁数 / 行数	語気助詞	文字の有無／備考
28/8-10	zeel (2 回)	無
33/5-16	zeel (4 回)	無
36/4	zeel	無
41/7-8	seiq (2 回)	無
42/8-9	ddaq, we, zeel (各 2 回)	無
42/11-12	seiq (2 回)	無
50/12	ddaq, we, zeel	無
51/2	muq, zeel	無
51/3-4	ddaq, we, zeel	無
51/7	muq, zeel	無
51/9	ddaq, we, zeel	無
51/13	muq, zeel	無
52/1-3	zeel (2 回)	無
52/8	zeel (2 回)	有 (No. 1581 「結び目」) (1 回)
53/5	zeel	無
53/13-14	seiq	無
60/14-15	ddaq, we, zeel	無
61/2-3	muq, zeel	無
61/6-7	muq	無
61/8	muq, we, zeel	無
61/12	weq	無
61/12	zeil (=zeel)	有 (No. 1812 「ツエの霊」)
62/12	ye (2 回)	無
62/13	zeel	無
63/2-3	ye (2 回)	有 (No. 1066 「葉」) (1 回のみ)

63/4	zeel	無
63/10-11	ye (2回)	無
63/12	zeel	無
64/1-2	ye (2回)	無
64/3-4	zeel (2回)	無
65/9-10	ye (2回)	無
65/10	zeel	無
72/1	ye (2回)	無
72/2	zeel	無
73/4-5	ye (2回)	無
73/6	zeel	無
73/16	seiq	無
74/12	seiq	無
74/13	ddaq, weq, zeel	無
89/13	hol	有 (No. 630 「肋骨」)
89/14	hol	有 (No. 643 「胃」)

註

- (1) ナシ語における語気助詞については、和志武 1984、和志武 1987、和即仁・姜竹儀 1985 などの研究がある。それぞれの研究の間には、一部の見解に相違も見られるが、ここでは筆者の観点でこのように分類しておく。それぞれの例文はこれらの研究、および和即仁・趙慶蓮・和潔珍 2011 と孫堂茂 2012 に見えるものに、文法的解釈を含む日本語訳を付して示した（ただし、ナシ語の原文に修正を加えたものもある）。なお、木仕華 2006 は、他の同系言語に広く見られる文末助詞（句尾詞）の概念をナシ語の文法において検討したものであり、その中にはそれ以前の研究における語気助詞も含まれている。
- (2) 「納西族文字方案」は、1957 年に草案が作成され、1980 年代以降に雲南省で出版された書籍等に用いられたナシ語の表記法である。現在でも出版物に使用されることがあるが、ナシ語の表記法として一般のナシ族の間に十分に普及しているわけではない。
- (3) 木仕華 2006, p.170。
- (4) 西田 2001a, p.684。また、西田 1966, p. 35-38、西田 2001b, p.33-36 にも同様の観点が述べられている。
- (5) 「ユ」と呼ばれる、高原に生える羊が好むという香草の葉。また、煙草の葉との説もある。
- (6) トンバ經典の文字ではなく、朗唱される言語の中で用いられる各種の助詞について検討したものとして、李英 2006 がある。

参考文献

- 傅懋勳 1948 『麗江麼些象形文「古事記」研究』武昌：武昌華中大学。
 和志武 1984 『麗江納西語的詞類和句法』『研究集刊』（雲南省歴史研究所）1984-1。
 和志武 1987 『納西語基礎語法』昆明：雲南民族出版社。
 和即仁・姜竹儀 1985 『納西語簡志』北京：民族出版社。
 和即仁・趙慶蓮・和潔珍 2011 『納西語常用詞彙』昆明：雲南民族出版社。
 和芳講述・周汝誠翻譯 1963 『崇搬図』麗江県文化館印（油印本）。

姜竹儀 1980 「納西語概況」『民族語文』1980-3。

李英 2006 「納西族東巴經中的助詞」『漢藏語言研究—第三十四屆國際漢藏語言暨語言學會議論文集』北京：民族出版社。

李霖燦 1972 『麼些象形文字・標音文字字典』台北：文史哲出版社。

李霖燦・和才 1978 「麼些族的洪水神話」『麼些經典譯注九種』台北：國立編譯館中華叢書編審委員會。

木仕華 2006 「納西語句尾詞研究」『漢藏語言研究—第三十四屆國際漢藏語言暨語言學會議論文集』北京：民族出版社。

孫堂茂 2012 『納西漢英詞典』昆明：雲南民族出版社。

雲南省社會科學院東巴文化研究所 1999-2000 『納西東巴古籍註全集 (1-100)』昆明：雲南人民出版社。

西田龍雄 1966 『生きている象形文字』東京：中央公論社。

西田龍雄 2001a 「ナシ象形文字」『言語学大辞典 別巻 世界文字辞典』東京：三省堂書店。

西田龍雄 2001b 『生きている象形文字』東京：五月書房。